

3月 13-19日

歴代第一 27-29章

133番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「父親から息子への愛情のこもったアドバイス」（10分） **星 延宏 B**

宝石を探し出す（10分） **五味 統 B**

代一 27:33 アヒトフェルは王の顧問官、アルキ人フシャイは王の友人(*信頼できる友人)だった
フシャイは忠実な友としてどのように行動したか。

（塔研 17.03 29 ページ 6-7 節）ダビデには、難しい時にも忠節に支えてくれる仲間がほかにもいました。フシャイはその一人で、「ダビデの友」と呼ばれています。（サム二 16:16.も代一 27:33も友人⇒または信頼できる友人）フシャイは廷臣で、公私ともにダビデの友だったようです。時には内密の命令を実行することもありました。アブサロムが父ダビデの王座を奪った時、イスラエル人の多くはアブサロムを支持しました。しかしフシャイはダビデを支持し、逃亡中のダビデに会いに行きました。ダビデは息子からも信頼していた仲間たちからも裏切られ、深く傷ついていました。フシャイはダビデに忠節であり続け、命がけで陰謀を阻止しました。単に廷臣としての義務感からそうしたものではありません。忠節な友として行動したのです。—サム二 15:13-17, 32-37; 16:15-17:16.（アヒトフェルの的確な助言の実行を阻んだ）

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

28:11, 19の神殿建築のための設計図が以前の翻訳では建築計画となっていて、神殿建築に設計図が欠かせないように物事を完成させるためには良い計画が必要であることを教えてくれる。イエスの死を思い起こす集まりの招待活動にも、訪問リストや証言の強調点などエホバからの洞察をいただいて、良く計画して参加したい。設計図を見ながら美しい神殿が建てられたように、このキャンペーンを通じて、効果的に誠実な人々を探していきたいです。

聖書朗読（4分） 代一 27:1-15（教励 第10課） **星 拓哉さん**

野外奉仕に励む

再訪問の動画（5分）討議。「再訪問: イエス（マタ 20:28）」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。 **佐藤 貴之 B**

先日はイエスは若くして死んだということをお伝えした。（あーはい）イエスが杭にはりつけにされてしんだのは、もうずっと前のことなんですが、今の時代の人たちにもすごく関係があるんです。（へーそうなんですか？）意外に思いますよね？イエスが何のために死んだのか？ちょっとここを見てもらえるか？（マタ 20:28）「イエスは多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与え

…た」贖いって普段使わない言葉ですよ。(そうですね。聞かないですね。)これは身代金のように人を何かから解放するための代価のこと。(そういう意味なんですか?)誰でも何時かは死ぬって思ってますよね。でも聖書によると元々人間はそうじゃなかった。アダムとエバって聞いたことはあるか?(あ一名前はきいたことはあるが。)そうですか?二人は最初の人間で、神に従うなら、ずっと生きられる見込みがあった。でもそうしなかったんで、死んでしまった。人間はその二人の子孫なので皆死んでいく。それで、さっき読んだところだが、何がその状態から解放するための代価になったのか分かるか?(んー、自分の命ってある。)そうなんです。イエスが死んだことには特別な意味があった。それによって将来いつまでも生きられるという見込みを多くの人が持てるようになった。(そんなことが聖書に書いてあるんですね。始めて知った)良かったです。じゃ、イエスの贖いによってどんな希望が持てるのか、次回もう少し詳しくはなしでも良いか?来週のこの時間はいらっしゃるか?

Q. 伝送者はそのように①相手が話に付いていきやすくしていたか。②他にもどんなことができるか?

①聖句の中の何がその状態から解放するための代価になったのか分かるか? ⇒ **イエスが死んだことには特別な意味**があった ⇒ それによって **将来いつまでも生きられるという見込み**を多くの人が持てるように

②「**ご主人様もその素晴らしい見込みを持てるようになった**」ことも**強調**できるかも

再訪問 (4分) 記念式の招待状を受け取って関心を示した人を再訪問する。「[イエスは何のために死にましたか](#)」の動画を紹介し、話し合う (不再生) ([教励 第9課](#)) **田中 克彦 9 長谷川 瑛一 B**

再訪問 (4分) 記念式の招待状を受け取って関心を示した人を再訪問する。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を使って聖書レッスンを始める。([教励 第6課](#)) **松橋 美智 S 6 佐藤 めぐみ S**

クリスチャンとして生活する

[4 番の歌](#)

会衆の必要 (5分) **田中 慶一 B**

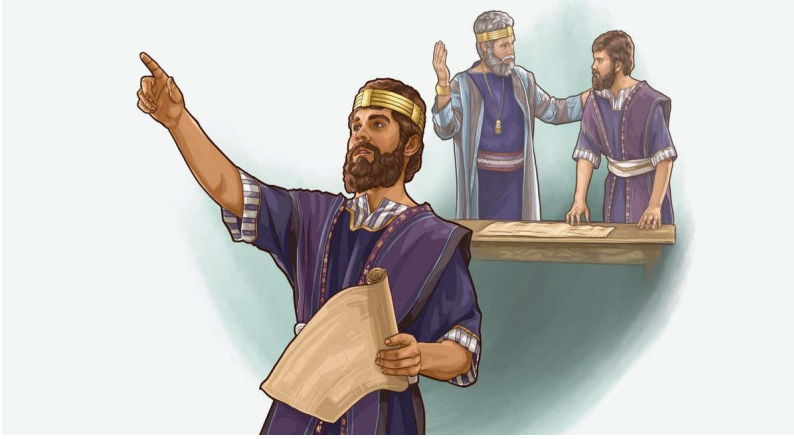
組織の活動の進展 (10分) 「[組織の活動の進展](#)」の3月の動画を再生する。 **佐藤 貴之 B**

会衆の聖書研究 (30分) [暮 レッスン 40](#) **大谷 正 B** 朗読: **米山 英行 B**

閉会の言葉 (3分)

[45 番の歌](#)と祈り **水品 安章 B**

[^ \(代一 27:1-29:30\)](#) イスラエル人の数は、各組が2万4000人だった。各組には、氏族長、千人長や百人長、役人がいた。役人は、1年を通して月ごとに交代する*組のことで王に奉仕した。2 第1の月担当の第1の組をまとめたのは、ザブディエルの子ヤショブアム。2万4000人がその組にいた。3 彼はペレツの子の1人で、第1の月に任務に就いたグループの全ての長の長だった。4 第2の月の組をまとめたのは、アホアハの子孫ドダイ。ミクロトが指揮官だった。2万4000人がその組にいた。5 第3の月に任務に就いた第3のグループの長は、祭司長エホヤダの子ベナヤ。2万4000人がその組にいた。6 このベナヤは30人の勇士の1人で、30人を率いていた。組をまとめたのはベナヤの子アミザバドだった。7 第4の月担当の第4の長は、ヨアブの兄弟アサエルで、その子ゼバドヤが後を継いだ。2万4000人がその組にいた。8 第5の月担当の第5の長は、イブラハ人シャムフト。2万4000人がその組にいた。9 第6の月担当の第6の長は、テコアの人イケシュの子イラ。2万4000人がその組にいた。10 第7の月担当の第7の長は、エフライム族のペ



神の言葉の宝

父親から息子への愛情のこもったアドバイス

エホバを知るように。 ([代一 28:9](#)。 [塔 05 2/15 19 ページ 9 節](#))

心を尽くしてエホバに仕えるように。 ([代一 28:9](#)。 [塔 12 4/15 16 ページ 13 節](#))

エホバに頼り、恐れないように。 ([代一 28:20](#)。 [塔研 17.09 32 ページ 20-21 節](#))

これらのアドバイスは、若くて経験が浅かったソロモンが神殿建設という大切な仕事を始める前に、高齢の父ダビデ王からもらったもの。このアドバイスが私たち皆にとって、とりわけ若いクリスチャンにとって貴重と言えるのはなぜか。

^ ([代一 28:9](#)) そして、わが子ソロモン、あなたは父の神を知り、心を尽くして喜びの*心で神に仕えなさい。エホバは全ての心を探り、考えの傾向を全て見極める方だ。あなたが神を探し求めるなら、神を見つけられるが、神を捨てるなら、神からいつまでも退けられる。

または、「進んでする」。

^ ([代一 28:20](#)) ダビデは息子ソロモンに言った。「勇気を出し、強くあって、取り掛かりなさい。恐れたりおびえたりしてはいけない。私の神、エホバ神があなたと共にいてくださる。神はあなたを見放したり見捨てたりはせず、エホバの家のための仕事が全て完了するまでずっとあなたと共にいてくださる。